

令和元年度第2回近畿大学病院監査委員会 議事録

1. 監査委員（4名）

水本 一弘、山口 育子、小島 崇宏、諸富 公昭

2. 議題

(1) 令和元年度医療安全活動目標（計画）の進捗状況・成果報告

①～⑨のうち下記の項目を重点的に

①患者参加型医療と医療安全への取組み

②心電図モニター無駄なり予防

③鎮静下内視鏡検査時の鎮静管理

⑦チーム医療依頼書の運用

(2) 医療事故調査制度への対応状況報告および内部調査委員会開催事例報告

(3) 臨床倫理問題への対応（DMR、認知機能障害と同意取得など）

(4) その他 現場ラウンド実施について

3. 議事

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年2月14日に開催予定であった本委員会は中止とし、会議資料による委員への意見聴取を集約し議事録とみなした。監査内容は以下のとおりである。

議題1 令和元年度医療安全活動目標（計画）の進捗状況・成果報告

① 患者参加型医療と医療安全への取組み

・ベッドサイドハンドオフを本年1月から全患者での実施に拡充したことは非常にすばらしい。今後は、この取組みによる情報共有関連インシデント抑制効果や患者満足度向上効果（患者相談窓口への苦情件数減少）などについて具体的な数値を示して報告いただきたい。（水本）

③ 鎮静下内視鏡検査時の鎮静管理

・ライセンス制が定着したことにより提供する医療の安全性と質の向上に繋がっている。自施設（和歌山県立医科大学附属病院）でも導入を検討したい。今年度から開始のi-gel使用についても、次回以降にその後の経過や有効性、問題点などを教えていただきたい。（水本）

⑦ チーム医療依頼書の運用

・チーム医療カンファレンスを勤務時間内に開催しているが、こういった工夫をしているのか。参加部署が多くなるほど日程調整が大変ではないか。(水本)

→次回、監査委員会にて回答する。

議題2 医療事故調査制度への対応状況報告および内部調査委員会開催事例報告

・対応状況報告および開催事例について書面にて確認し、特に問題等は見受けられなかった。

議題3 臨床倫理問題への対応 (DNAR、認知機能障害と同意取得など)

・自施設(和歌山県立医科大学附属病院)でも、一昨年の病院機能評価受審にて対応が不十分との指摘を受けて、昨年4月より定例開催の臨床倫理委員会に加えて下部組織の臨床倫理コンサルテーションチームを設立した。医療者からの相談受付は医療安全推進部が、患者からの相談受付は患者相談窓口(患者支援センター)で、いずれも医療安全推進部が初期対応して、学内のメンバー(教養課程の法学と倫理学の教員、法医学教員を含む)から3名以上が招集されて当該部署との検討で方向性を進言し、必要ならば親委員会である臨床倫理委員会で検討するという2段階制で対応を始めたが、貴院において全て臨床倫理委員会の迅速対応で処理されたのか、また迅速対応までの期間はどれくらいか教えていただきたい(水本)

→次回、監査委員会にて回答する。

議題4 その他 現場ラウンド実施について

委員長より

他の特定機能病院でも現場ラウンド実施を行っており、次年度からの委員会で現場ラウンド実施の提案を頂戴した。現場ラウンド実施について各委員のご意見を頂戴したい。

・現場を見る方が病院の特徴や実施状況の理解が深まるので、可能な範囲で実施いただきたい。(小島)

令和2年 7月 14日

確認者

委員長 水本 一 弘

